

コラム 科学技術に関する国家的プログラムに土木研究所の研究課題が採択
～「戦略的イノベーション創造プログラム」への参画～

総合科学技術会議（現在は総合科学技術・イノベーション会議、以下、CSTI という。）が創設した「戦略的イノベーション創造プログラム（以下、SIP という。）」において、土木研究所が主体的に参画する7つの研究課題が採択されました。

SIP は、CSTI が策定した「科学技術イノベーション総合戦略（以下、総合戦略という。）」に基づいて創設されたものです。総合戦略は、日本の将来のあるべき姿、またその実現のために克服すべき課題に対して、科学技術イノベーション政策の全体像を課題解決型戦略パッケージとして打ち出されました。その中で、科学技術イノベーション政策を推進する為のプログラムであり、以下のような特徴があります。

- ・社会的に不可欠で、日本の経済・産業競争力にとって重要な課題を CSTI が選定
- ・府省・分野横断的な取組み
- ・基礎研究から実用化・事業化までを見据えて一気通貫で研究開発を推進。規制・制度、特区、政府調達なども活用。国際標準化も意識 等

平成 26 年 2 月 14 日に SIP で取り組む 10 の研究課題とプログラムディレクターが決定し、同年 6 月ごろに関係省庁や（独）科学技術振興機構等各資金配分団体から研究課題が公募されました。土木研究所は他の研究機関等と連携を図りつつ、SIP に積極的に応募を行いました。その結果、表-1 のとおり、土木研究所が主体的に参画する7つの課題が採択されました。

SIP は科学技術に関する重要課題解決のための中心的役割として位置付けられており、対象の 10 課題については研究開発のさらなる加速化等が期待されます。土木研究所はこれからも土木技術の向上並びに社会資本の効率的な整備の観点から、本事業に積極的に参画します。

表-1 SIP に採択された課題のリスト

No	研究課題	提案名称	参加機関（○は研究代表者）
1	インフラ維持管理・更新・マネジメント技術	異分野融合によるインベティブメンテナンス技術の開発	○(独)土木研究所(CAESAR)、東京大学、理化学研究所
2		無人化施工の新展開～遠隔操作による半水中作業システムの実現～	○大成建設(株)、(独)土木研究所(技術推進本部先端技術チーム)、(一社)日本建設機械施工協会、(一財)先端建設技術センター、青木あすなろ建設(株)、(株)大本組、鹿島建設(株)、(株)熊谷組、(株)IHI、(株)ニコントリプル
3		社会インフラの点検高度化に向けた構造融合型点検装置についての研究開発	○(独)土木研究所(技術推進本部先端技術チーム、道路技術研究グループシネルチーム、CAESAR)、(一財)橋梁調査会、(一社)日本建設機械施工協会
4		モニタリング技術を社会インフラの維持管理業務へ適用するための技術的検証	○東日本高速道路株式会社、(独)土木研究所(CAESAR)、西日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、鹿島建設(株)、前田建設工業(株)、国際航業(株)、日本工営(株)、沖電気工業(株)、日本電気(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、(株)共和電業、能美防災(株)
5	レジリエントな防災・減災機能の強化	液状化地盤における橋梁基礎の耐震性能評価方法と耐震対策技術の開発	○(独)港湾空港技術研究所、(独)土木研究所(CAESAR)
6		巨大都市、大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発	○工学院大学、東京電機大学、(独)土木研究所(ICHARM)、(独)産業技術総合研究所、損保ジャパン日本興和リスクマネジメント(株)
7	次世代農林水産業創造技術	圃場水管理の情報通信・制御技術を導入した圃場一広域連携型の次世代水管理システムの開発	○(独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所、(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合センター、(独)土木研究所(水基盤チーム・資源保全チーム)、(独)情報通信研究機構